

CSR報告書 2025

編集方針

本報告書は、貴金属がもたらすゆとりある豊かな社会と美しい地球の未来の実現に向けて田中貴金属※が進めているCSR(企業の社会的責任)活動を報告するとともに、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。2004年に環境報告書を発行して以来、今年で22回目の発行となります。

※当社のグループ総称を「田中貴金属」と表記しています。

対象期間

2024年1月～2024年12月。

ただし、各テーマに沿った会社の活動の全体像を知っていただくために、一部対象期間外の内容も掲載しています。

対象範囲

株式会社田中貴金属グループと連結子会社を含むグループ全体を対象としています。

ただし、Metalor Technologies SAを除きます。なお、対象範囲が異なる場合は当該箇所に明示しています。

田中貴金属については以下をご覧ください。

<https://www.tanaka.co.jp/about/>

発行時期

2025年9月

参考ガイドライン

ISO26000:2010

環境報告ガイドライン2018年版

発行責任部署

株式会社田中貴金属グループ サステナビリティ・広報本部 CSR推進部

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-6-6

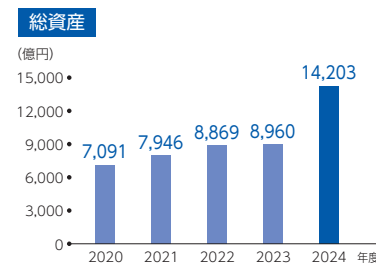
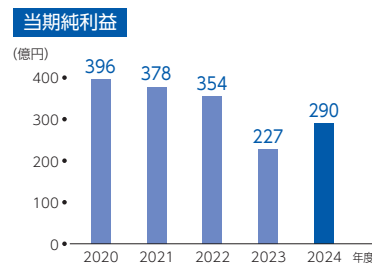
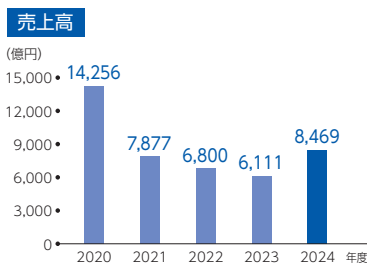
ホームページ <https://www.tanaka.co.jp/sustainability/csr/>

本報告書へのご意見・ご感想も[こちら](#)からお寄せください。

田中貴金属財務状況

Metalor Technologies SA含む

業績要約	百万円		
	2023年度	2024年度	前年度比
売上高	611,128	846,921	138.6%
当期純利益	22,683	28,964	127.7%
総資産	895,996	1,420,332	158.5%



2021年度より収益認識会計基準等を適用。
2023年度より会計年度を変更。2022年度以前は各年4月～翌年3月。
2023年度は経過措置として4月～12月。2024年度より各年1月～12月で計上。

ISO26000の
中核主題



組織統治



人権



労働慣行



環境



消費者課題



公正な事業慣行



コミュニティへの参画
及びコミュニティの発展

CONTENTS

02 トップメッセージ

03 田中貴金属の事業

06 研究開発

08 品質と信頼

10 地球環境を守る

14 地域・社会への貢献

16 一人ひとりの活躍

18 より安全な職場環境づくり

20 健康経営の実現に向けて

21 誠実で健全な企業であるために

24 CSRパフォーマンス

27 第三者保証

トップメッセージ

「ひらめきときらめきで、
今日を超える明日を創る」
この大義のもと、
未来に向けて
挑戦を重ねていきます。



田中貴金属
グループCEO

田中浩史

田中貴金属では、当社の創業200年となる2085年を見据えた上で持続可能な社会や超長期の企業経営をめざす「TANAKAルネッサンスプラン」を2021年度よりスタートいたしました。

貴金属は、まさに可能性の塊です。宇宙、深海、人体をはじめとしたフロンティアの開拓も、人々の暮らしをより豊かにするデバイスやプロダクトの開発も、貴金属なしに成し得ることはできません。その貴金属の可能性を引き出し、よりよい未来を創り出していくことが、貴金属のリーディング・カンパニーである私たちの使命といえます。

2085年の遙か未来をめざすというのは大きな挑戦です。そこには、全従業員の知の結集が不可欠です。従業員一人ひとりが自分の頭で考え、従業員を起点にイノベーションを生み出していく。そのような組織文化を醸成していくために、田中貴金属では改めて自らの存在意義を再定義し、グループの“大義”と

して言語化しました。それが「ひらめきときらめきで、今日を超える明日を創る」です。これからは、この大義を旗印に、グループの従業員が一体となって2085年への航海を進めていく。自らの個性・創造性を活かして行動し、互いに助け合いながら、時代の荒波を乗り越えていく。田中貴金属は、この大義のもと、未来に向けてさらなる挑戦を重ねていきます。

また、「TANAKAルネッサンスプラン」において、“サステナビリティ”も重要なキーワードのひとつです。田中貴金属は、創業以来140年にわたり貴金属のリサイクルを究めることで循環型ビジネスを構築してきましたが、これからはより高い視座・広い視野で、脱炭素・循環型社会への転換を先導していく企業にならなければならないと考えています。2022年度に表明した「田中貴金属 カーボンニュートラル宣言」のもと、2050年にCO₂排出量実質ゼロをめざして、現在、各工場や事業所で地球環境を守るためのさまざまな取り組みを加速させています。

今後も、希少な資源である貴金属を扱う私たちの強みを活かして、地球環境問題や社会課題の解決に取り組んでいきます。

2024年4月には、本社を丸の内から、田中貴金属発祥の地・日本橋茅場町へ移転いたしました。未来を切り拓く挑戦を続けてきた先人たちの想いが息づくこの地に再び本社を構えることは、200年企業をめざす上で、とても意義があることだと考えています。新本社では「つながろう。人と、街と、未来と。」というコンセプトを設定し、田中貴金属のコックピットとして、これからの時代を見据えた創造的な働き方を促進する環境づくりを推進。発祥の地・日本橋茅場町から未来というフロンティアをめざして航海を進め、「ひらめきときらめきで、今日を超える明日を創る」を実践していきます。



田中貴金属の事業

田中貴金属は1885年の創業以来、貴金属による特別な価値を世界へ届け続けてきました。
これからも貴金属ができるすべてのことに取り組み、新しい領域を切り拓いていきます。

国内拠点

株式会社田中貴金属グループ

- 本社 (東京)

田中貴金属工業株式会社

- 本社 (東京) • 岩手工場 • 富岡工場 • 市川工場 • 袖ヶ浦工場
- 伊勢原工場 • 平塚工場 • 湘南工場 • 平塚テクニカルセンター
- 筑波事業所 (テクニカルセンター) • 伊勢原テクニカルセンター
- FC触媒開発センター • TANAKA物流センター
- 名古屋支店 • 大阪支店 • 福岡支店 • 京都営業所

田中電子工業株式会社

- 佐賀本社工場 • 東京事務所 • 湘南分工場

EEJA株式会社

- 本社 (東京) • 平塚事業所

田中貴金属リテイリング株式会社

- 銀座本店 • 横浜元町店 • 仙台店 • 名古屋店
- 心斎橋店 • 福岡 西鉄グランドホテル店

TKT株式会社

- 本社 (東京)

三友セミコンエンジニアリング株式会社

- 本社・工場 (茨城)

株式会社日本ピージーエム

- 本社 (東京) • 小坂工場

海外拠点

田中貴金属工業株式会社

- 台湾田中貴金属工業股份有限公司 • 新竹工場 • 湖口工場 • 台北営業 • 高雄営業 • 田中先端有色金属材料 (寧波) 有限公司 • 田中先端有色金属材料 (成都) 有限公司
- 田中メタロー電気材料 (蘇州) 有限公司 • 田中貴金属工業株式会社 香港支店 • 田中貴金属 (上海) 有限公司 • 田中貴金属 (上海) 有限公司 深圳分公司 • 韓国TKK株式会社
- 田中貴金属 (シンガポール) 株式会社 • 田中貴金属 (シンガポール) 株式会社 マニラ支店 • 田中貴金属インターナショナル (タイランド) 株式会社
- 田中貴金属インターナショナル (アメリカ) 株式会社 • 田中貴金属インターナショナル (アメリカ) 株式会社 サンノゼ支店 • 田中貴金属インターナショナル (欧州) 有限会社
- 田中貴金属 (インド) 株式会社

田中電子工業株式会社

- 田中エレクトロニクスシンガポール (PTE.) LTD. • 田中エレクトロニクス (マレーシア) SDN. BHD. • 田中電子 (杭州) 有限公司 • 台湾田中電子股份有限公司
- 台湾田中電子股份有限公司 南科分公司 • 台湾田中電子股份有限公司 テクニカルセンター

Metalor Technologies SA

Nippon PGM Europe S.R.O.

成都光明派特貴金属有限公司

2025年3月末現在



田中貴金属工業 (株) は、ロンドン地金市場協会 (LBMA) より金および銀の公認審査会社※1に任命され、ロンドン・プラチナ・パラジウム市場 (LPPM) の公認審査会社※2にも任命されており、貴金属の公認溶解業者の溶解技術・分析能力を審査する使命を担っています。

※1 LBMAの公認審査会社は現在7社で、日本では田中貴金属工業 (株) が唯一

※2 LPPMの公認審査会社は現在6社で、日本では田中貴金属工業 (株) が唯一

田中貴金属の事業

産業用

貴金属のプロフェッショナルとして電子機器、クリーンエネルギー、メディカルなどさまざまな分野で製品・サービスを提供しています。地金調達から加工、製造、販売そしてリサイクルまで、貴金属に関わるすべてのバリューチェーンをカバーしています。数多くの世界トップシェア製品と長年培ってきた貴金属リサイクル・分析技術を誇るリーディングカンパニーです。



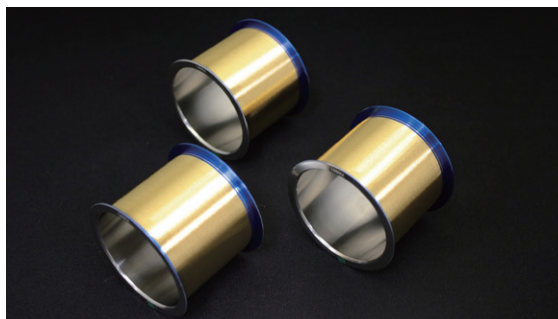
リサイクル



貴金属材料・素材



電気機能材料(リレー・モーター・スイッチ)
エレクトロニクス機能材料



パッケージ・封止半導体・電子部品



センサ材料
各種厚膜ペースト



ガラス溶解装置・理化学品



エネルギー・環境触媒



メディカル検査キット



研究・技術開発

田中貴金属の事業

資産用 資産を最適に分散し保全するための金・プラチナ商品を提供しています。

地金・コイン

金は6,000年の間一度もその価値を失ったことがない唯一の存在であり、世界共通の資産です。

LBMA※1、LPPM※2の公認審査会社でもある田中貴金属工業(株)は、世界最高水準の技術で金地金、プラチナ地金を製造しており、お客様の安心のため、必ず新品の地金のみを販売しています。

また田中貴金属工業(株)は各国造幣局に発行国以外で唯一認められた輸入販売総代理店として、金貨、プラチナコインを販売しています。

美しいデザインは贈り物としても人気があります。

※1 LBMA：ロンドン地金市場協会

※2 LPPM：ロンドン・プラチナ・パラジウム市場



貴金属積立商品

「田中貴金属の純金積立」は、ひとつの口座で月々3,000円から「金」「プラチナ」「銀」を購入することができる商品です。未来の安心に向けて、着実に続けられます。

田中貴金属の 純金積立

宝飾用 人生のさまざまなシーンを輝かせる宝飾品を、永く愛するにふさわしい確かな品質でお届けしています。



研究開発

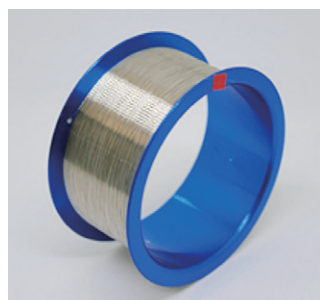
田中貴金属にとって、研究開発は価値創造の源泉です。

広い視野をもって貴金属の可能性を追求し、より豊かな社会、そして美しい地球の未来への扉を着実に開き続けています。

医療機器部材用の貴金属素材群を【Visi Fine®】として展開

近年の医療現場では、患者の身体への負担を軽減し、傷口を最小限にする低侵襲・非侵襲的な手術や治療がトレンドとなっています。これらの手術や治療で用いられるカテーテル治療デバイスや医療用体内留置デバイスなど（以下、治療デバイス）には、患部への正確なアプローチや、体内組織との反応性が低いことが求められます。また、治療デバイスの体内での正確な位置を把握するためには、X線照射下での視認性が重要な要素です。金（Au）やプラチナ（Pt）などの貴金属は比較的比重が大きく、X線不透過性が高い上に、酸化や腐食に強い特徴を持つため、治療デバイスの部材用の素材として活用が広がっています。

田中貴金属工業（株）は、長年培った素材開発の知見を活かし、複数の溶解技術や極細線加工、レーザー加工などの独自技術を駆使して、貴金属の特性を最大限に活かした信頼性の高い素材群を【Visi Fine®】シリーズとして提供しています。



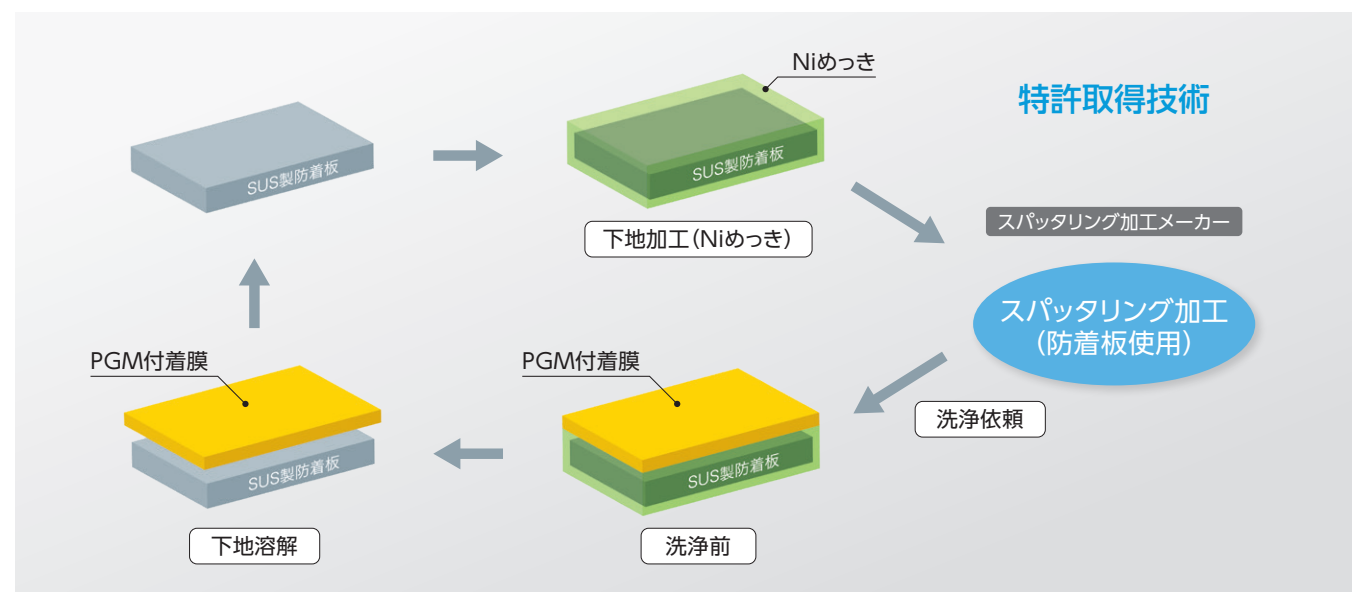
Precious Metal Fine Wire

Visi Fine

真空成膜装置部材に付着した貴金属の新たな回収方法を確立

田中貴金属工業（株）は、治具洗浄法「TANAKA Green Shield」を確立しました。本洗浄法は、半導体の製造工程などで使用される真空成膜装置※1部材の防着板※2に、ニッケルめっき加工を施すことが特長です。ニッケルめっき加工された防着板は、容易にプラチナやパラジウムなどのPGM※3スパッタ膜の剥離を行うことが可能となります。この結果、装置洗浄時に使用する洗浄剤の使用量減少が期待でき、環境負荷低減に貢献できます。さらに、研磨時の飛散による貴金属の回収ロスも低減されることが見込まれるため、高いPGM回収率と低コスト化も期待できます。

田中貴金属工業（株）では、「TANAKA Green Shield」について、2025年末までに多種多様な形状・サイズの部材に対応可能な体制を整え、PGM膜の剥離回収量を現状の6倍に拡大することをめざします。



「TANAKA Green Shield」治具洗浄プロセス

※1 真空成膜装置:スパッタリングや蒸着など、半導体の製造工程において薄膜成形のプロセスで用いる装置

※2 防着板:成膜装置のチャンバー(物理的、化学的の反応を起こさせるための密封した反応容器)の内壁への着膜を防止するために設置される板

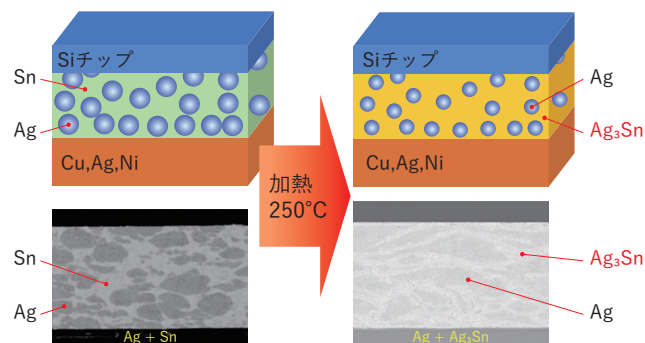
※3 PGM:貴金属のうちプラチナ、パラジウム、ロジウム、ルテニウム、イリジウム、オスミウムの6種類を指す

研究開発

○ パワー半導体向けシート状接合材料 「AgSn TLPシート」を開発

田中貴金属工業(株)は、パワー半導体用パッケージ製造におけるダイアタッチ向けシート状接合材料「AgSn TLPシート」を開発しました。近年、大型化するSiチップの接合において、高い信頼性を担保しながら、大きな面積を接合できる材料が求められています。「AgSn TLPシート」は、最大20mmまでの半導体チップ接合に対応しています。さらに、3.3MPaの低加圧で接合が可能であり、半導体製造における歩留まり改善にも貢献します。

本製品は加熱温度250℃で液相拡散接合※1が可能です。接合後、耐熱温度が480℃まで上がるため、既存材料よりも高い耐熱性を有します。また、接合強度においては最大50MPaを維持するため、さまざまな被接合材に対応が可能です。本製品は3,000サイクルのヒートサイクル試験を通過した高接合信頼性、環境負荷を考慮した鉛フリー製品であることも特徴です。



結合イメージ

※1 液相拡散接合: 拡散接合を行う際、接合界面に挿入される金属などを一時的に溶融、液化した後に、拡散を利用し等温凝固させて接合する接合方法。
英語名称はTransient Liquid Phase Diffusion Bonding (TLP接合)

○ 半導体検査装置用パラジウム合金材料 「TK-SK」を開発

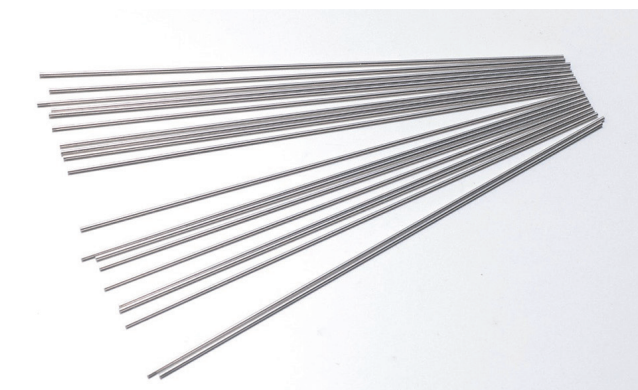
田中貴金属工業(株)は、半導体パッケージの後工程におけるファイナルテストで使用されるプローブピン用パラジウム(Pd)合金材料「TK-SK」(ティーケーエスケー)を開発しました。

今回開発した「TK-SK」は、プローブピン用パラジウム合金材料として最大硬度640HVを有するため、主に後工程で行われる通電試験のファイナルテストに用いられるテストソケット向けとしての用途を想定しています。

近年、半導体検査用のプローブピンはプランジャー先端の摩耗低減を目的として硬さ向上の需要が高まっています。

従来、市場に流通するパラジウム合金の硬さは560HV程度が最大とされていました。

この度、独自技術により、硬さ640HVに到達する本製品の開発に成功しました。



「TK-SK」製品画像

○ 知的財産の創出と保護

発明、考案、意匠、商標、著作物などの知的財産およびノウハウは、企業の重要な財産であるとの認識のもとに、積極的な創出に努めています。新技術の研究、製品・商品の開発、生産および販売にあたっては、第三者の知的財産権を尊重し、侵害行為に対しては各国の法令に則って厳正に対処しています。また、知的財産への意識向上のため、技術部門を中心に年間を通して知的財産教育を実施しています。



品質と信頼



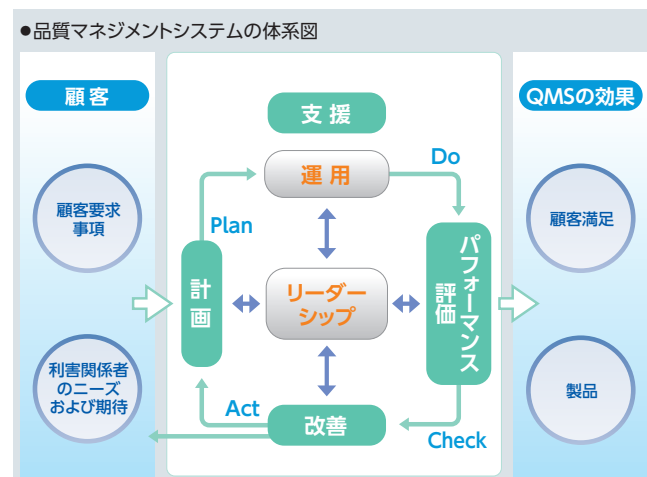
「良い物」をお客様にお届けすることが、田中貴金属の信条です。

製品自体の品質はもちろん、製品をつくる過程で人権、環境、安全・衛生、倫理などにも配慮しています。

品質マネジメントシステムの構築

田中貴金属の全工場で、ISO9001に基づく品質マネジメントシステム(QMS)を構築し運用しています。

お客様からの多様な要求品質に対して迅速に対応し、満足いただける安心で安全な製品を継続的に提供するため、QMSの有効性をレビューするとともに、自動車業界向けQMSであるIATF16949の要求事項を反映させるなど、システムの改善に取り組んでいます。



顧客満足度調査

田中貴金属では2016年度より「顧客満足度調査」を実施しています。本調査は、国内外の産業用ビジネスのお客様より毎年アンケートにご回答いただくことで当社に対する真のご要望やご不満を把握し、さまざまな改善に役立てることを目的としています。

2024年度は260社のお客様よりご回答をいただき、平均77.4点(満点:100点)でした。2016年度の調査開始時は平均61.2点でしたが、近年は安定して75点以上の評価を頂戴しています。今後もお客様の満足度向上に向けてさまざまな改善を進めます。

顧客からの評価

お客様の生産活動を支える田中貴金属の取り組みは、さまざまなお客様から表彰などの形で評価をいただいています。

【2024年度】お客様からの主な表彰

会社・拠点名	お客様名	受賞名	表彰を受けた理由
田中貴金属工業株式会社 名古屋支店	パナソニック インダストリー株式会社	0-Defect継続賞	パナソニック インダストリーの伊勢拠点のビジネスユニットと、一定の年間取引金額があり、2年以上継続して不良ゼロを実践したため
田中貴金属工業株式会社 名古屋支店	日本特殊陶業株式会社	貴金属部門 優秀賞	マネジメント、技術力、品質面、コスト貢献度、納期工程管理の総合評価
田中貴金属工業株式会社 大阪支店	京セラ株式会社	ベストサプライヤー賞	京セラグループ多数の事業部との取引金額の合計、またTANAKAの高い技術力や品質など、総合的な観点で受賞「ベストサプライヤー賞」は、5000社超取引先の中、3社のみ表彰
田中貴金属工業株式会社 京都営業所	日本電気硝子株式会社	優秀パートナー賞	ディスプレイ事業部向け設備の早急な対応およびガラス繊維事業部への技術貢献
田中電子工業株式会社 佐賀本社工場	ローム株式会社	優秀クオリティ賞	品質において高いパフォーマンスを発揮し業績貢献されたため
田中電子(杭州)有限公司	TONGFU MICROELECTRONICS CO.,LTD	卓越サプライヤー賞	高品質、高効率で、常に優秀を追求し、TONGFUとの長期、安定的協力を保ち、TONGFUの高品質発展へ卓越貢献
田中電子(杭州)有限公司	ATX Semiconductor (Suzhou) Co., Ltd.	2024 Excellent Supplier賞	高品質、優れたパートナーシップへの感謝
田中貴金属(シンガポール)株式会社	UTAC HeadQuarters Pte. Ltd.	Appreciation Award	UTACグループへの高品質な製品、サービス提供
田中貴金属(シンガポール)株式会社 田中エレクトロニクスシンガポール(PTE.)LTD. 田中エレクトロニクス(マレーシア)SDN. BHD.	UTAC HeadQuarters Pte. Ltd.	Appreciation Award	優れた戦略的パートナーシップへの感謝
台湾田中電子股份有限公司	ASE HOLDINGS	Supply Chain Carbon Inventory Guidance 感謝状	社会に影響を与えうる温室効果ガス(GHG)の排出削減に卓越貢献への感謝

品質と信頼



責任ある調達活動を実現するためのサプライチェーン・マネジメント

田中貴金属はCSR<企業の社会的責任>を果たすため、取引先様のご協力の元、人権、環境、倫理などに配慮した責任ある調達活動を推進しています。鉱物調達については個別に活動方針を制定し、厳正な対応を行っています。

○責任ある調達の推進

主要な取引先様に対して「RBA行動規範」の遵守をお願いするとともに、CSRセルフアセスメントの実施をお願いしています。事業への影響が大きくリスクが高いと判断した取引先様には、訪問調査も行っています。2024年度は185社に対してCSRセルフアセスメントを依頼し、取引先様の自主的な改善を促しました。重大な問題を特定した取引先様はありませんでした。

○責任ある鉱物調達の推進

鉱物調達については「責任ある鉱物調達方針」※1を制定し、3TG(金、タンタル、タングステン、すず)やコバルト、マイカ、ニッケル、リチウム、グラファイト、銅などを含有した原材料の調達において、児童労働をはじめとする人権侵害、テロリストへの資金供与、マネーロンダリング、不正取引、紛争への加担、環境破壊などの排除を推進しています。

○責任ある貴金属調達の推進

白金、金、銀、パラジウムについては、取引上のリスク管理が特に重要と考え、「責任ある貴金属調達方針」※1を制定しています。貴金属のサプライチェーンにおける責任ある調達を確保するための国際的なガイドラインである「LBMA※2/LPPM※3レスポンスブルガイド」に基づくデューデリジェンスを行い、指定第三者機関による監査を受け、毎年同協会・市場より「LBMA/LPPMレスポンスブル認証」を取得しています。リサイクル材を含む貴金属原料の調達にあたっては、取引先様が、人権、環境、倫理などCSRの観点から問題やリスクを抱えていないかを慎重に精査し、責任ある貴金属の供給を実現しています。



LBMA レスポンシブル・ゴールド認証



LBMA レスポンシブル・シルバー認証



LPPM レスポンシブル・プラチナ・パラジウム認証

○取引先様への審査

取引のグローバル化に伴うリスクに対応するため、人権侵害、テロリストへの資金供与、マネーロンダリング、不正取引、紛争への加担、環境破壊などの排除、制裁対象先や反社会的勢力との取引回避といった観点から、取引先様の厳正な審査を行っています。

※1 責任ある鉱物調達方針 責任ある貴金属調達方針 <https://www.tanaka.co.jp/sustainability/sourcing-policy/> ※2 LBMA:ロンドン地金市場協会

※3 LPPM:ロンドン・プラチナ・パラジウム市場

○業界団体への参加を通じた情報収集強化

田中貴金属は業界団体であるJEITA(電子情報技術産業協会)の「CSR委員会」および「責任ある鉱物調達検討会」に参加しています。「CSR委員会」傘下の「責任あるサプライチェーンWG」では、中小企業の人権尊重の取り組みをご支援するための講演会や個別相談会などを実施しています。「責任ある鉱物調達検討会」では、各種団体との情報共有会や、メンバー同士の意見交換会などを行っています。今後とも業界団体への積極的な参加を通じて、業界における責任ある調達活動の促進に貢献していきます。

○サステナビリティに関する外部評価

ORBA※1監査

田中貴金属では、「RBA行動規範」に沿った「田中貴金属行動憲章・行動規範」を策定し、役職員一人ひとりが日常業務の中で、人権、環境、安全・衛生、倫理などの社会的責任を果たすことを定めています。毎年、複数の国内外工場がRBA認定第三者機関による監査やお客様直接の監査により、RBA行動規範遵守状況の評価を受けています。

○EcoVadis※2メダルの取得

田中貴金属は、EcoVadisによるCSR評価(「環境」、「労働と人権」、「倫理」、「持続可能な資材調達」)を毎年受けており、2017年度から2024年度まで連続して「シルバーメダル」を取得しています。



※1 RBA(Responsible Business Alliance責任ある企業同盟):

電子・電機業界のグローバル有力企業を中心に運営するCSR推進組織。企業が遵守すべきCSR規範を、「労働」、「安全衛生」、「環境」、「倫理」、「マネジメントシステム」の観点で、具体的にRBA行動規範として定めている。

※2 EcoVadis:

世界185か国、250業種、15万社以上の団体・企業の評価を行っているCSR評価機関で、「プラチナ」、「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」の4つのメダルの他、「コミットメント」、「ファーストムーバー」の2つのバッジを合わせた6段階の評価ランクがある。

地球環境を守る



美しい地球を未来へ継承することは、国際社会共通の課題であり、大きな挑戦でもあります。
田中貴金属は、事業活動による環境への負荷を最小化するために、あらゆる可能性を追求しています。

2050年カーボンニュートラル宣言

2022年4月に「田中貴金属 カーボンニュートラル宣言」を表明し、2050年にCO₂排出量実質ゼロをめざすことを宣言しました。また、社長をプロジェクトリーダーとする全社横断プロジェクトチームを立ち上げ、工場でのエネルギー効率の向上や脱炭素社会に貢献する製品開発など、カーボンニュートラルの実現に向けた対策を進めています。

田中貴金属 カーボンニュートラル宣言

田中貴金属は、地球温暖化という地球規模の社会課題に対し、2050年までにカーボンニュートラルの達成を掲げ、脱炭素社会に資する技術を自らそして社会に積極的に実装していくことで、地球温暖化問題の解決に挑戦します。

事業活動に伴う温室効果ガスを削減するために、自社工場・事業所では、エネルギー効率の向上と製造プロセスの改善、使用するエネルギーのグリーン化など、排出量削減の活動を継続的に実施していきます。

同時に、温室効果ガス削減に貢献する触媒やEV化等に伴う高機能材料など脱炭素社会に向けて取り組むお客様のご期待に応える製品を提供いたします。さらには貴金属リサイクルビジネスの強化によって循環型社会へ貢献することで、豊かでサステナブルな地球の未来を私たちの手で創り出します。

また、「TANAKAの森」を創るなど、植林や森林の再生を保全する活動も視野に入れて進めていきます。

田中貴金属はこれらの活動を通してカーボンニュートラルをめざします。

2022年度より社長直轄の全社横断的なプロジェクトチームを結成し、具体的な対応策を検討し実行していきます。これからも田中貴金属は、貴金属独自の特性を活かした製品・ソリューションを通じ、お客様はもとより社会全体に価値を提供していきます。



田中貴金属 カーボンニュートラル宣言

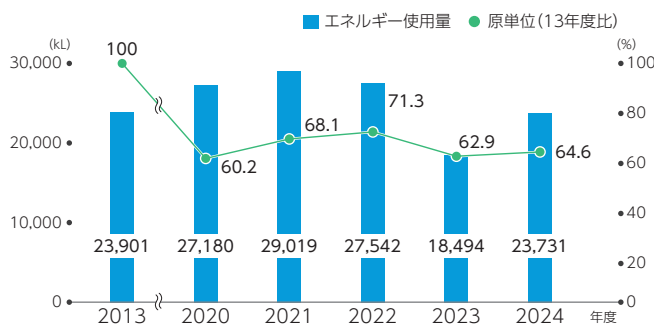
<https://www.tanaka.co.jp/sustainability/carbon-neutral/>

地球温暖化防止の取り組み

田中貴金属では、エネルギー原単位を毎年1%改善する目標を定めています。2024年度のエネルギー原単位は前年度比2.8%増(2013年度比35.4%減)、CO₂排出量は前年度比1.0%減となりました。

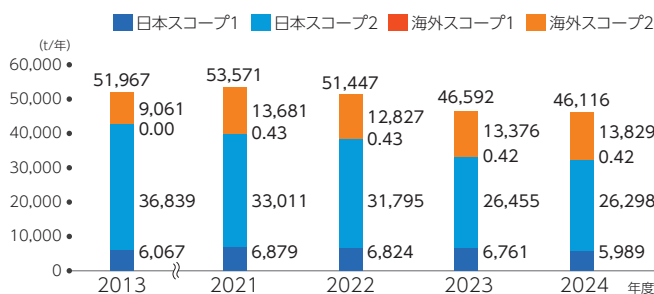
全社目標 》 エネルギー原単位を毎年1%改善

●エネルギー使用量、原単位の推移(田中貴金属 国内・海外)



※エネルギーは電気、ガスなどを原油換算して算出。原単位は損益計算書の売上総利益を分母として算出。2023年度は4月～12月の9か月分の実績値。

●CO₂排出量の推移(田中貴金属 国内・海外)



※スコープ1(燃料の使用等による直接排出)、スコープ2(電気等の使用による間接排出)。各工場・事業所が立地する地域の電気事業者別CO₂排出係数を年度ごとに使用して算出。海外拠点については各国・地域の平均CO₂排出係数を使用して算出。

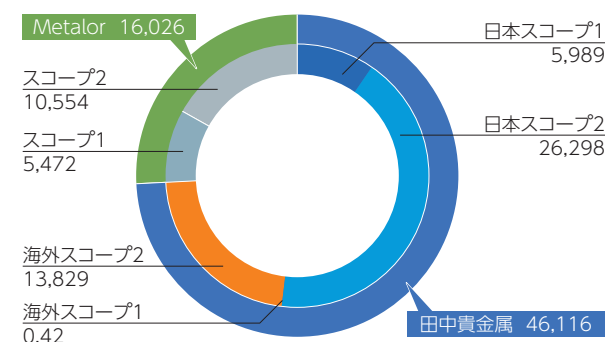
TOPICS

グローバルCO₂排出量(2024年度)を算出

グループ会社であるMetalor Technologies International SAと、田中貴金属(国内・海外)のCO₂排出量を初めて算出しました。2024年度のグローバルCO₂排出量は62,142tであることが分かりました。

今後もグループ全体でCO₂排出量の削減に取り組んでまいります。

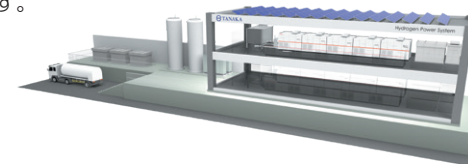
●2024年度CO₂排出量(グローバル) 単位:t



湘南工場に500kW燃料電池発電設備を導入

田中貴金属リサイクル事業の重要拠点である湘南工場に、国内の民間利用では発電容量が最大級となる500kW(キロワット)定置型純水素燃料電池発電設備を導入し、2026年に稼働を開始します。

湘南工場では本設備の導入によって使用電力量の25%が燃料電池発電に替わり、年間約2,000tのCO₂排出量削減が見込まれます。



地球環境を守る



●2024年度事業所別のCO₂排出量(田中貴金属 国内・海外)

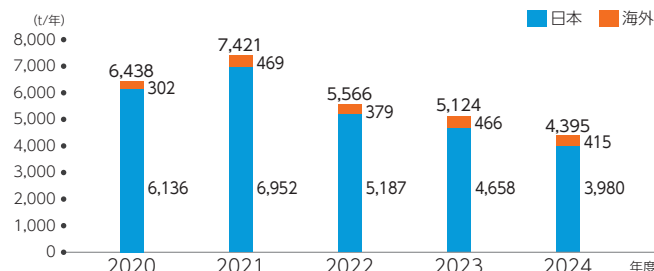
事業所名	CO ₂ 排出量(t)
田中貴金属工業(株)湘南工場	7,703
田中貴金属工業(株)富岡工場	5,614
田中貴金属工業(株)平塚工場	3,789
田中貴金属工業(株)袖ヶ浦工場	3,730
田中貴金属工業(株)市川工場	3,689
田中貴金属工業(株)筑波事業所	2,803
田中メタロー電工材料(蘇州)有限公司	3,203
田中貴金属工業(株)伊勢原工場	2,754
田中電子(杭州)有限公司	2,683
田中エレクトロニクス(マレーシア) SDN. BHD.	1,982
台湾田中電子股份有限公司	1,532
田中貴金属工業(株)岩手工場	1,384
その他	5,251

○産業廃棄物の削減

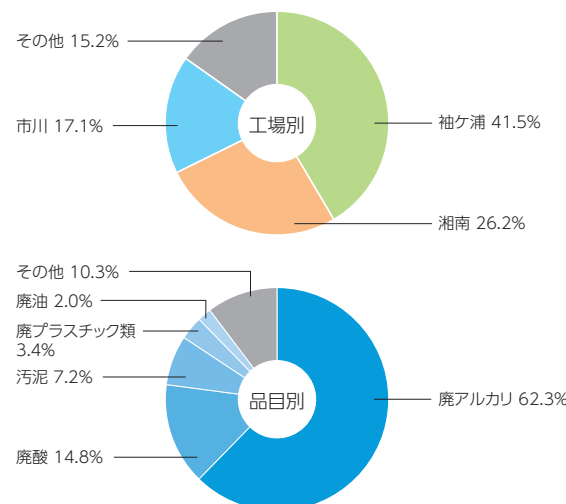
田中貴金属は、産業廃棄物排出量を毎年1%削減する目標を定めています。2024年度は新たに廃液の有価物化に取り組んだ結果、産業廃棄物排出量が前年度比14.2%減となりました。事業拡大に伴う廃棄物の発生を抑制できるよう、さらなる対策を進めます。

全社目標 産業廃棄物排出量を毎年1%削減

●産業廃棄物排出量の推移(田中貴金属 国内・海外)



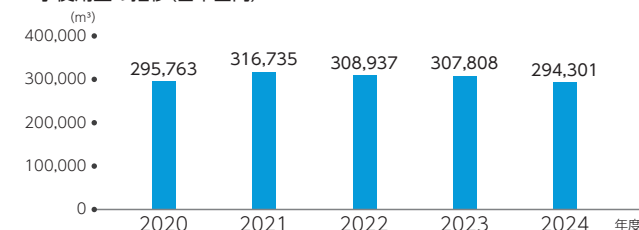
●産業廃棄物排出量の内訳(2024年度)(田中貴金属 国内・海外)



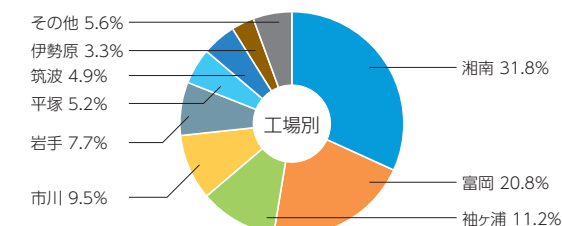
○水使用量の削減

排水処理などを通じて事業活動における水使用量の削減に努めています。水使用量を工場別にみると、湘南工場、富岡工場で全体の約半分を占めています。

●水使用量の推移(日本国内)



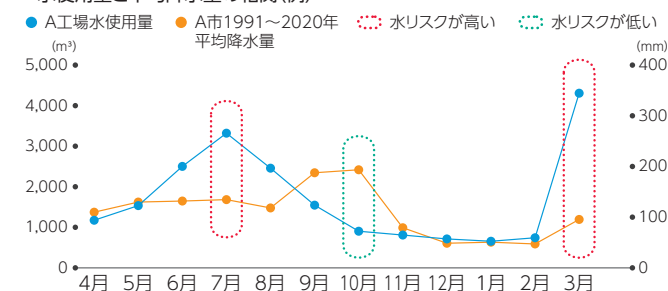
●水使用量の内訳(2024年度)



○水リスクの把握

全工場の立地地域における平均降水量を把握しています。降水量の少ない時期を水リスクが高まる期間と想定し、水使用量の削減をめざしています。

●水使用量と平均降水量の相関(例)



過去30年間の平均降水量と、前年度の水使用量実績の推移を比較し、水リスクが高い時期と低い時期を特定。



地球環境を守る

環境異常撲滅活動

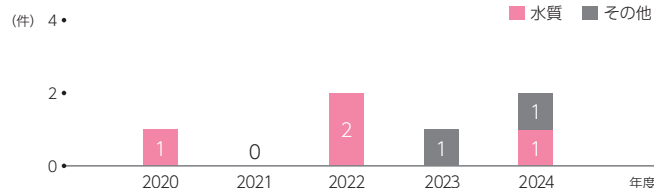
水質汚濁、大気汚染などを未然に防止するため、法規制値よりもさらに厳しい社内自主基準値を設定しています。この自主基準値を超過した場合を「環境異常」と定義しており、さまざまな未然防止活動・再発防止対策を行っています。

●主な社内ルール

	項目	内容
通常管理	自主基準値管理	法基準の50%を自主基準値として設定
異常対応	環境異常速報	異常事態が発生した際の早期情報伝達 (原因分析と対策は環境専門部会で確認)
	通報・届出基準	異常発生時における関係行政への通報・届出に関する基準

※環境異常の定義：法規制違反、自主基準値オーバー、近隣クレームなど

●環境異常発生件数

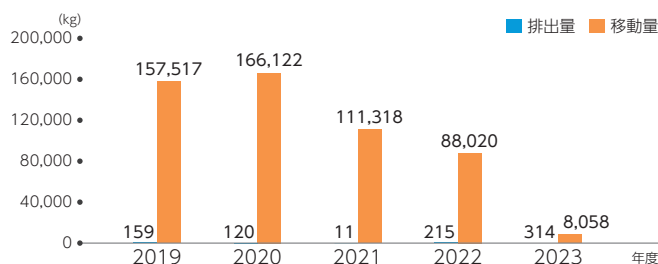


環境汚染の防止

「特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律 (PRTR※法)」に基づく対象物質について、環境への排出量および事業所外への移動量を国に届け出しています。

今後も環境汚染を防止するため、事業活動における化学物質の適切な管理に努めます。

●PRTR対象物質の全排出量・移動量(日本国内)



※すべて4月～翌年3月の実績。2024年度実績は次回CSR報告書で開示予定。

環境マネジメントシステム

国内外の生産拠点で環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得し、環境保全活動を実施しています。

また、環境保全活動を着実かつ円滑に推進するために、各工場・事業所長で構成される中央環境委員会を最上位としたグループ組織体制を構築しています。さらに、SHE※推進室長会議、環境管理者で構成される環境専門部会を定期的に開催し、情報共有および積極的な意見交換を重ねています。

※SHEは、英語の「安全、衛生、環境」の頭文字です。

●環境保全推進体制



●ISO14001認証取得事業所一覧

(取得年月)

田中貴金属工業株式会社			
湘南工場	2000年 10月	岩手工場	2005年 1月
市川工場	2002年 5月	伊勢原工場	2005年 3月
テクニカルセンター	2002年 5月	富岡工場	2005年 3月
平塚工場	2002年 10月	筑波工場	2013年 12月
田中エレクトロニクス(マレーシア) SDN. BHD.		1999年 6月	
田中電子工業株式会社 佐賀本社工場		1999年 8月	
田中エレクトロニクスシンガポール (PTE.) LTD.		1999年 12月	
EEJA株式会社		2000年 11月	
田中電子(杭州)有限公司		2005年 2月	
台湾田中貴金属工業股份有限公司		2010年 5月	
台湾田中電子股份有限公司		2013年 3月	
田中先端有色金属材料(寧波)有限公司		2019年 1月	



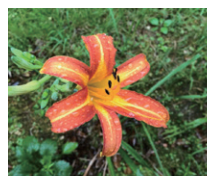
地球環境を守る

生物多様性保全

2020年度より、希望する従業員の自宅や工場・事業所の敷地内でノカンゾウ・ハマカンゾウを育てて、増えた株を元の生息地である鶴見川の川辺（神奈川県横浜市）と小網代の森（神奈川県三浦市）に返還しています。毎年夏になると美しいノカンゾウ・ハマカンゾウの花が咲くようになりました。

<この活動の目的>

川辺や公園などに繁茂する「ネズミホソムギ」は花粉症の原因として知られ、草刈りでの除去は困難です。そこで、在来種であり地域の希少種でもあるノカンゾウ、ハマカンゾウなどで代替（グラウンドカバー）することで、ネズミホソムギ群落の抑制をめざしています。ハマカンゾウは盗掘被害に遭うことがあるため、安全な従業員の自宅や工場・事業所内での保護・育成を行っています。



従業員宅で咲いたノカンゾウ



増えた株を梱包してNPOへ郵送



届いた株を元の生息地へ移植



現地で咲いたノカンゾウ

2025年6月に、小網代の森ボランティアエコツアーを開催しました。当日は従業員および家族の計60名が参加し、ハマカンゾウの保全作業を行いました。また、森や干潟の散策を行いました。

<この活動の目的>

2011年3月に発生した東日本大震災の際、小網代湾も数度の津波に襲われました。このとき、小網代の森で海沿いに生息していたハマカンゾウの群落がほぼ全滅しましたが、残っていた28株を保護し、群落として復元する作業をNPO法人小網代野外活動調整会議が進めています。この活動を複数の企業が支援しており、田中貴金属も2018年度より参加しています。



森の散策



ペンダントづくり



従業員と家族でハマカンゾウを移植

TOPICS

フルヤ金属つくば工場でハマカンゾウの植栽を実施

2023年度より田中貴金属、株式会社フルヤ金属、NPO法人小網代野外活動調整会議の三者で生物多様性保全活動の連携を進めてきました。

この活動の一環として、2025年5月28日にフルヤ金属つくば工場（茨城県筑西市）でハマカンゾウ110株の植栽を実施しました。当日は（株）田中貴金属グループCSR推進部メンバーも参加し、両社の従業員17名で作業を行いました。増えた株は元の生息地である小網代の森へ返還されます。



写真提供:フルヤ金属



「鶴見川流域水循環系健全化貢献者表彰」を受賞

従業員が一丸となって取り組む生物多様性保全活動が評価され、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所より「令和5年度鶴見川流域水循環系健全化貢献者表彰」を受賞しました。



左から（株）田中貴金属グループ CSR推進部 川端香織、藤枝一也

地域・社会への貢献



田中貴金属は、事業活動を通じてご縁が生まれる地域や国がより健やかで豊かになるように、自らができる貢献をめざしています。会社としての支援、従業員によるボランティアの両面から、継続性を大切にする活動を各地で展開しています。

◆ スポーツ振興

「東京都スポーツ推進企業」の認定

(株)田中貴金属グループは、従業員の健康促進や社内コミュニケーションの活性化をめざしたスポーツ活動を推進しています。

その他、2012年から日本パラスポーツ協会(JPSA)のオフィシャルパートナー、2017年からは日本ブラインドサッカー協会(JBFA)とブラインドサッカー女子日本代表への協賛を通じて、CSR活動の一環としての障がい者スポーツ・パラアスリートの支援と障がい者スポーツへの理解促進に向けた活動を行っています。

このような活動が評価され、2015年度より「東京都スポーツ推進企業」の認定を受けています。



障がい者スポーツへの支援・参加

「LIGA.iブラインドサッカートップリーグ2024」(主催:日本ブラインドサッカー協会)に、カテゴリースポンサー(表彰・セレモニー)として協賛しました。チーム・選手に授与されるリーグ杯・メダル・記念品の提供、ならびに表彰式・セレモニー運営への協力を通じて、国内外におけるブラインドサッカーのさらなる発展に寄与します。



優勝を飾った「品川ICC パペレシアル」



優勝した品川ICC パペレシアルへ
優勝銀皿の授与



得点王と最優秀選手賞は川村怜選手
(品川ICC パペレシアル)が受賞

©Haruo Wanibe/JBFA

◆ 人財育成

おしごと年鑑

文部科学省が推奨するキャリア教育の一環として、小中学校の授業で活用されている教材『おしごと年鑑2025』で貴金属に関するお仕事を紹介しています。

次世代を担う子どもたちに向けて、貴金属の社会における役割やその仕事の魅力を伝えることを目的に、「都市鉱山って何?」「『金』って何がすごい?」「『金』のジュエリーや工芸品はどうやってつくるの?」という3つのテーマから貴金属の特性や活用、リサイクルの重要性などを取り上げています。





地域・社会への貢献

田中貴金属記念財団

◇ 貴金属に関わる研究助成金

本制度は、貴金属が貢献する新しい技術や研究・開発を支援するため、1999年度から毎年実施しています。25回目となる今回は、合計210件の応募があり、19件の研究に対し総額1,990万円の研究助成金を給付しました。

Umekichi Tanaka Award(1,000万円)	1件
Gold Award(200万円)	1件
Silver Award(100万円)	1件
Young Researcher Award(100万円)	3件
TANAKA Special Award(30万円)	13件

● Umekichi Tanaka Award

応募テーマ 電磁波遮蔽機能付ボンディングワイヤに関する研究

九州大学 大学院システム情報科学研究所 情報エレクトロニクス部門
教授 金谷 晴一 先生

● Gold Award

応募テーマ 貴金属水素エネルギー電子キャリアの開発

九州大学 大学院工学研究院 応用化学部門
教授 小江 誠司 先生

◇ 学生応援活動

2018年度～2021年度
奨学金給付の実施(東北大学様)

2021年度～
継続中 「100円朝食応援企画」

2022年度 「50円カスタードメロンパン企画」

2023年度 「50円チョコクランチドーナツ企画」

2024年度 「50円ココナッツミルクドーナツ企画」



全国七大学総合体育大会

第61回 優勝トロフィーと大会ピンバッジ進呈

第62回 MVPトロフィーと大会ピンバッジ進呈

第63回 MVPトロフィーと大会ピンバッジ進呈と

撮影機材の応援



「高専ロボコン」協賛

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト(高専ロボコン)は、若者たちが既成概念にとらわれず「自らの頭で考え、自らの手でロボットを作る」ことの面白さを体験し、発想することの大切さ、ものづくりの素晴らしさを共有する全国規模のイベントです。全国の高専学生が毎年異なる競技課題に対し、アイデアを駆使してロボットを製作し、各地方大会から全国大会をめざします。

田中貴金属では、2012年から高専ロボコンに協賛し、日本の未来の技術者を応援しています。



スポーツ振興活動

東京マラソン2025では、男女マラソンおよび車いすマラソンの上位3名に贈られる金、銀、銅メダルを提供しました。メダルのデザインは「東京がひとつになる日」という大会コンセプトに基づき、表面には大会ロゴパターン、裏面には点字で大会名が刻まれています。

田中貴金属は2007年から毎年メダルを製作しており、今後もスポーツ振興に貢献していく予定です。



福祉車両の寄贈

EEJA(株)は、福祉活動の一環として、平塚市内の福祉施設にリフト付き福祉車両2台を寄贈しました。今回の寄贈は4回目となり、寄贈先は(福)小百合会おあしす湘南と(福)恵伸会サンレジデンス湘南です。寄贈先の施設からは感謝の声が寄せられています。



一人ひとりの活躍



多様性を増す従業員一人ひとりが輝ける職場環境づくりは、田中貴金属の将来にとって欠かせません。
すべての従業員が活躍できるように、さまざまな切り口から職場環境の整備に取り組んでいます。

働き方・休み方改革と多様な従業員の活躍

田中貴金属では、多様な従業員がそれぞれいきいきと働ける職場環境づくりをめざしています。その一環として、働き方や休み方の見直しと改善に、複合的なアプローチで取り組んでいます。

年次有給休暇

2019年4月から施行された「働き方改革関連法」に対応するため、グループ全体で取り組んでいます。2018年度より「年次有給休暇5日以上取得」を目標に掲げ、全工場・事業所で達成しました。

日本国内	2023	2024
年次有給休暇(5日以上)取得率	100%	100%
年次有給休暇平均取得日数	11.3日	13.8日
(製造部門)	11.3日	14.1日
(間接部門)	11.5日	13.6日
平均残業時間	11.19時間	12.47時間
平均勤続年数 男性	15.7年	15.6年
平均勤続年数 女性	14.4年	14.4年
介護休暇取得者数	5名	4名
介護短時間勤務取得者数	1名	1名

男女の賃金の差異(2024年度)

会社	区分	男女の賃金の差異
田中貴金属工業(株)	正規労働者	79.91%
	非正規労働者	76.71%
	すべての労働者	68.45%

- ・対象期間 2024年1月1日～2024年12月31日
- ・常用労働者数301名以上の田中貴金属工業(株)日本国内従業員が対象
- ・女性の平均年間賃金÷男性の平均年間賃金により割合を算出
- ・正規・非正規ともに複数の従業員区分を設定しているが、それぞれの従業員区分における給与処遇・評価基準については男女同一のものを適用

介護と仕事の両立支援

従業員が介護と仕事を両立できる職場環境を整備するため、さまざまな取り組みを実施しています。

1. 法定を超える制度

【介護休業】 要介護状態にある家族1人につき365日まで取得することが可能です。

【介護短時間勤務】 勤務時間は原則6時間、本人の希望により5時間まで短縮することが可能です。

2. 相談窓口の設置

社内外に相談窓口を設置し、介護に関する従業員の相談に対応しています。

3. 従業員への情報提供

従業員が介護に直面する前から介護に関する情報を得られるよう、年齢別研修でハンドブックを配付し情報提供を実施しています。また実際に介護に直面したとき・40歳到達時には、介護関連の会社制度をまとめたリーフレットを従業員とその上司に配付することで、制度利用の促進と利用しやすい雰囲気づくりに取り組んでいます。



子育てと仕事の両立支援

従業員が子育てと仕事を両立できる職場環境を整備するため、法令で定められている以上にさまざまな取り組みを行っています。今後も働き方改革とワークライフバランスの観点から、従業員の子育てと仕事の両立支援に取り組めます。

1. 法定を超える制度

【配偶者出産時の特別有給休暇】

配偶者が出産した場合には、入院・退院・届出に充てるため、特別有給休暇を3日間取得することが可能です。

【育児休業】

原則1歳6か月(条件を満たした場合は最長2歳)まで取得することが可能です。

【育児短時間勤務】

最長で子が小学6年生の3月31日まで適用されます。

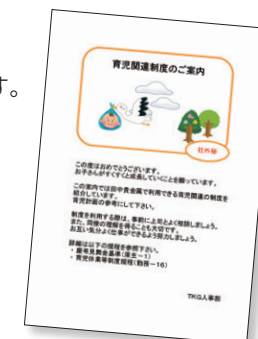
勤務時間は原則6時間、本人の希望により5時間まで短縮することが可能です。

【子の看護休暇】

最長で子が小学6年生の3月31日まで取得することが可能です。

2. 男性の育児休業等取得促進

配偶者が出産した従業員とその上司へのリーフレット配付や、役職者研修での冊子の配付を通じて、育児に関連する会社制度の周知および制度を利用しやすい雰囲気づくりに取り組んでいます。男性の育児休業取得者は2016年度以降増加傾向となっています。2024年度は53名が育児休業を取得するなど、取り組みの成果が少しずつ表れています。(25ページ参照)
今後も従業員の子育てと仕事の両立支援に向けた取り組みを拡充します。



一人ひとりの活躍



人財育成の取り組み強化

DE&I推進室では、多様性を理解し、心理的安全性のある職場を実現するため、全従業員向けにアンコンシャスバイアス研修を実施しました。2023年9月から2024年8月までの1年間で非管理職向けにはe-learning、管理職向けには3か月かけてのスマホ学習を実施し、受講完了率は95%となっています。また、意思決定層の多様化実現に向けて、まずは女性に焦点を当て、女性管理職育成プログラムを実施しています。

管理職になることだけが活躍ではありませんが、意思決定層の多様化によりイノベーションを起こすため、また、さまざまなライフステージにある女性の支援者を増やすため、管理職約250名と管理職候補の女性約60名を対象として、社内ヒアリングで得た従業員の声を基にしたオリジナルプログラムの研修を実施しています。今後も性別にとらわれない全従業員の活躍をめざして、人財育成を進めていく予定です。



研修の様相

従業員の声を聞く ～キャラバン隊ヒアリング～

DE&I推進室発足後、2023年から2024年にかけて「キャラバン隊ヒアリング」と称し、グループ全拠点、全本部の階層・年齢別に、総勢370名の従業員にヒアリングを実施しました。

ヒアリングで集めた従業員の声は、その後のDE&I施策、オリジナルのハラスメント研修など、組織風土改革の取り組みに活かされています。



みんなのトイレ、みんなの更衣室の導入

茅場町本社には車椅子で入ることができるバリアフリートイレに加えて、性別にかかわらず誰でも利用できる“みんなのトイレ”が各階に設置されています。完全な個室になっているためさまざまな理由で使うことができます。各工場・事業所でも順次導入が始まっています。

更衣室についても、従来の男女別に加えて誰でも使える“みんなの更衣室”を始めました。さまざまな背景、理由、思いをもつ従業員が気持ちよく仕事ができるよう環境整備を進めています。



みんなのトイレ、みんなの更衣室

障がい者雇用の促進

田中貴金属は「一人ひとりの個性こそが価値を生み出す源泉」と考えています。それぞれの資質とスキルに合わせて活躍できる場を提供するという方針のもと、間接部門から製造部門に至るまで、さまざまな職場でさまざまな障がいのある従業員が能力を発揮しながら活躍しています。

(TANAKAホールディングス(株)・田中貴金属工業(株)・田中貴金属ジュエリー(株)グループ
3社算定障がい者雇用率:2.56%、EEJA(株):3.08%、田中電子工業(株):2.52%
※2024年6月1日付)

安心して長く働くことが可能になるように、入社前には、主な障がい特性・必要な配慮などに関する勉強会や職場見学会を実施しています。入社後には、必要に応じて地域の支援機関や

社内関係者と連携を取りながら定期面談を行っています。

筑波事業所では「聴覚障がいのある方から見える世界／状況を知らう・より理解を深めよう」というコンセプトのもと聞こえない体験学習を実施するなど、各工場・事業所においても理解促進に取り組んでいます。グループ全体で多様性ある職場づくりを進めるとともに、障がいのある方の雇用機会創出に積極的に取り組んでいます。

TANAKA NOW

養護学校を卒業後、2020年に田中貴金属工業(株)湘南工場へ入社しました。私は主に工場内の配送(以下、場内便)・スリッパ清掃・下駄箱や傘立ての拭き清掃・食堂のお盆拭きを行っています。また、食堂のキッチンペーパーの補充・トレイ拭き・消毒液の補充・シュレッダー等も行っています。スリッパ清掃では、お客様や次に使う人に喜んでいただけるようきれいにしています。

私は、①安全、②メモを取る、③報告を意識して業務に取り組んでいます。これからも成長し、少しずつ担当業務を増やしていきたいと思っています。

一番好きな業務は、場内便のお仕事です。色々な人と出会ったり話せるところが好きです。『挨拶が元気ですね』『いい声しているね』と言ってもらえるとやる気が出て、もっと頑張ろうと思います。これからは、今まで話せていない人ともコミュニケーションをとるように頑張っていきたいです。

私は、田中貴金属での仕事が大好きです。業務セクションの皆さんが、私ができる仕事を探してくれたことにとても感謝しています。定年まで田中貴金属で働き続けたいです。



田中貴金属工業(株)湘南工場
神保 啓悟



より安全な職場環境づくり

安全で、安心して働ける職場環境づくりは、企業にとって最も重要な、かつ奥深い課題です。

田中貴金属は、お互いに協力できる関係づくりを大切にしながら、従業員の安全と健康の確保に取り組んでいます。

安全対策

田中貴金属では、全従業員が安心して働ける職場環境の実現をめざし、さまざまな安全対策を講じています。

定期的な安全教育と訓練によって、従業員が最新の安全知識と技術を習得する機会が増えました。また、各職場でのリスクアセスメントを通じて、潜在的な危険箇所を特定し、適切な対策を講じることで、事故や怪我のリスクを最小限に抑えることができました。

交通安全にも力を入れています。加害事故防止の対策として通勤時の車利用者に対してドライブレコーダーの搭載支援を実施しました。また、安全講話などによる注意喚起の

継続によって従業員の安全運転意識向上を図っています。

災害・事故の発生状況に鑑み、今後はさらなる安全対策の強化を計画しています。最新の技術を活用した安全管理システムの導入や従業員の安全意識を高めるための新しい教育プログラムの整備などを行います。

このほか、過去の活動の成果を踏まえ、より効果的な安全対策を検討し、こまめな活動にも尽力をしていきます。

田中貴金属は、今後も「より安全な職場環境づくり」を推進し、全従業員が安心して働ける職場をめざします。

TANAKA NOW

田中電子工業(株)は、4年間無災害、1年間交通事故ゼロを達成しました。この成果は、ヒヤリハット対策や他工場・事業所の災害事例を用いた注意喚起、必要に応じたKY活動、職場立哨、リスクアセスメントの実施によるものです。また、交通事故防止対策として、エビングハウスの忘却曲線に基づき、週に1度のペースで交通事故防止情報を提供しました。これにより、従業員の安全意識が高まり、リスクを最小限に抑えることができました。今後も田中電子工業は、安全第一の姿勢を貫き、さらなる無災害記録の更新をめざします。



田中電子工業(株)佐賀本工場 安全管理者 有川 孝俊

より安全な職場環境づくり

安全対策重点実施活動の事例紹介

事例1 > ロボットの導入

富岡工場



改善前

改善後

熱処理工程では、約20kgの材料を手で1本ずつ載せ替える作業者の負担を低減するため、ロボットの導入を始めた。

事例2 > 転倒防止

市川工場



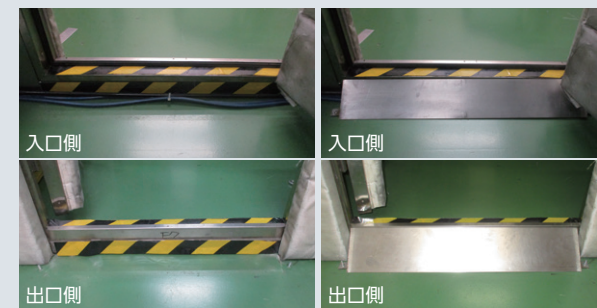
改善前

改善後

使用頻度の低い通路に対して転倒防止の足場を設置した。

事例3 > 転倒防止

伊勢原工場



入口側

入口側

出口側

出口側

改善前

改善後

スロープの取付を行い、つまづかないようにした。

事例4 > 転倒防止

TD



改善前

改善後

柵の作製および床を広くして転倒を防止した。

事例5 > 挟まれ防止

EEJA



改善前

改善後

引戸門扉による挟まれを防止するため、通用扉を設置した。





健康経営の実現に向けて

田中貴金属健康宣言

田中貴金属は、従業員とご家族の幸せと健康を第一に、いきいきと働ける職場環境づくりを通じて広く社会に貢献できるよう、経営課題のひとつとして「健康経営」を推進しています。

取り組み方針

①安全と健康を最優先

私たちは、社員の健康を経営の重要な原動力と考え、安全と健康を最優先する組織文化の醸成を図っていきます。

②いきいきと働ける職場環境の整備

私たちは、社員が明るく、元気に働くことができるよう、職場環境を整えていきます。

③健全な心身で社会に貢献

私たちは、社員とご家族の健康の保持・増進、ワーク・ライフ・バランスの実現、生産性の向上、多様な社員がいきいきと活躍できる職場づくりなどを総合的に推進します。

健康診断

疾病の早期発見などの観点から、各種がん検診の項目を追加した定期健康診断を実施し、従業員の定期健康診断および二次検査の受診率は100%を継続しています。

また、45歳を迎える従業員は、その配偶者とともに人間ドックの受診が可能です。

メンタルヘルス

メンタルヘルスの取り組みは次のように行っています。

- ◇工場・事業所健康管理室に常駐看護職を配置して社内相談体制を整備
- ◇従業員と家族が利用できる社外相談窓口の設置
- ◇ストレスチェックの実施
- ◇復職制度

休職している従業員がスムーズに職場復帰ができるように社内ルールを作成しています。

- ◇新入社員および通年採用者にメンタルヘルス教育を実施
- 社会人生活のスタートにあたりストレスの気づきとその対処方法を身に付けることを学びます。

健康保持・増進活動

田中貴金属では、従業員と家族の健康保持・増進のために次のような活動を行っています。

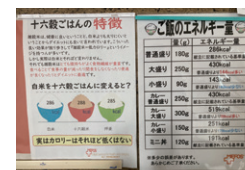
①健康チャレンジ

食生活や運動習慣などの生活習慣改善を図り、病気予防と健康意識の向上を目的として実施しています。個人で取り組む項目を選択し、約2か月間生活習慣改善にチャレンジしました。

健康チャレンジは2016年度から実施しており、2024年度の参加率は70.5%となりました。

②健康的な食事の提供

食堂がある一部の工場・事業所では、塩分・カロリー・野菜量の表示や健康メニューの実施、健康米の導入を行っています。その他、自動販売機にトクホ飲料の設置なども行い、健康的な食生活となるように働きかけています。



健康的な食事の提供（筑波事業所）

③健康測定会

各工場・事業所単位で従業員参加型のイベントとして、体力測定、骨密度測定、肌年齢測定などを実施しています。



大人の体力測定（平塚工場）

④健康セミナー

工場・事業所単位で、腰痛、睡眠、高血圧、熱中症、腸活などの健康に関するセミナーを開催しています。

⑤禁煙

禁煙デーや工場・事業所屋内禁煙、禁煙外来治療費補助金支給などを行っています。

⑥ウォーキングイベント

一般社団法人日本ウォーキング協会が主催する「第3回 東京ベイサイドツーデymarチ」に協賛し、従業員と家族が参加しました。



ウォーキングイベント

TOPICS

健康優良企業（銀の認定）更新

健康診断受診率100%の継続、健康増進の取り組みを続け、2024年度も認定を受けました。

健康経営優良法人2025認定取得

2025年度も「健康経営優良法人（大規模法人部門）」の認定を受けました。

※（株）田中貴金属グループ、田中貴金属工業（株）、TKT（株）、田中電子工業（株）、EEJA（株）、田中貴金属リテイリング（株）



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門



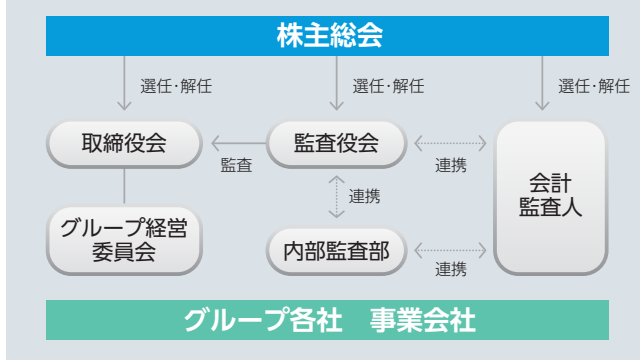
誠実で健全な企業であるために

法令を遵守するだけでなく、社会倫理にも配慮した事業活動をグローバルに展開しています。

コーポレート・ガバナンス

田中貴金属では、すべてのステークホルダーの権利と利益を尊重し、適法かつ適正な業務執行および会計などを実現するためにコーポレート・ガバナンス体制を構築し、内部統制基本方針を定めています。この体制と基本方針に基づき取締役会・グループ経営委員会・監査役会・内部監査部がそれぞれの役割を果たしています。

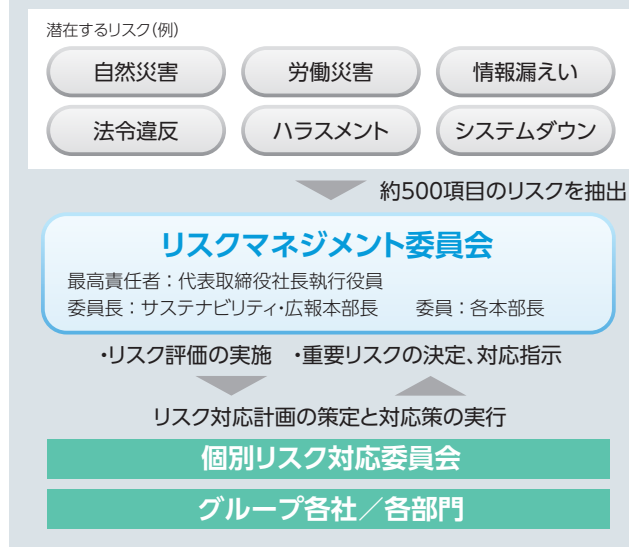
●ガバナンス体制図



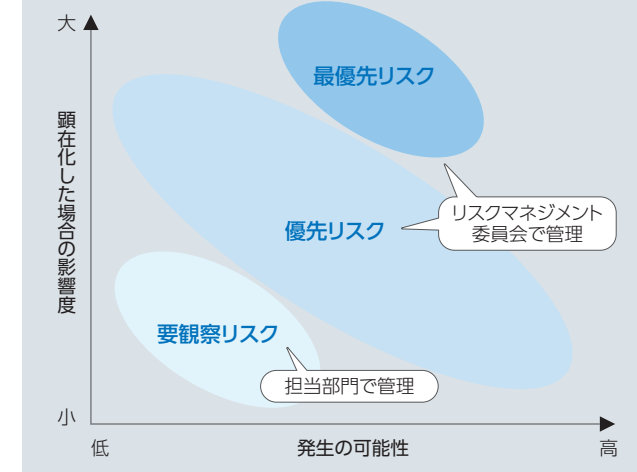
リスクマネジメント推進体制

(株)田中貴金属グループ代表取締役社長執行役員を最高責任者、サステナビリティ・広報本部長を委員長とするリスクマネジメント委員会を設置しています。年2回開催される同委員会では、リスク評価、リスク対応状況の進捗確認、対応すべき重要リスクの決定と対応指示を行っています。同委員会で決定した重要リスクは、個別リスクを管理する各委員会または担当部門がリスク対応計画を策定し、計画に基づきリスク対応策を実行しています。

●リスクマネジメント推進体制図



●リスク評価の概念図



事業継続計画 (BCP)

地震、風水害などさまざまな自然災害を想定して、各拠点で、定期的な訓練、事業継続計画書の見直しを行っています。特に、国内各工場・事業所10カ所に設置されているライブカメラは、地震や天候急変時などに遠隔地から状況を確認することができるため、情報共有や初動対応に活用しています。



スマートフォンの画面(イメージ)



誠実で健全な企業であるために

「田中貴金属 人権方針」を策定

田中貴金属の事業活動に関連するステークホルダーへの人権侵害を回避するため、2024年10月に「田中貴金属 人権方針」を策定しました。この人権方針は田中貴金属各社のすべての役員・従業員に適用されます。

田中貴金属 人権方針

田中貴金属は、貴金属の可能性を引き出し、よりよい未来を創り出していくことを貴金属のリーディング・カンパニーである私たちの使命とし、事業活動を推進しています。

田中貴金属は事業活動全体において、直接的または間接的に人権に影響を及ぼす可能性があることを理解し、人権が尊重されなければならないと認識しています。

田中貴金属は1885年の創業以来、人を大切に経営を続けてまいりました。これからも人権を尊重する責任を果たし、持続的に発展する企業を目指します。

1. 適用範囲

本方針は、田中貴金属各社※1のすべての役員・従業員※2に適用されます。

また、人権への影響を受けるステークホルダーの視点から、人権課題の理解や改善、解決に取り組むことが重要であることを認識し、田中貴金属の事業、製品またはサービスと直接関連するステークホルダーと、建設的な対話等によって、人権に対する侵害を回避するよう努めます。

※1: 田中貴金属各社は当社の連結子会社を意味します。

※2: 従業員には、田中貴金属の嘱託、契約社員、パート、アルバイト、派遣労働者が含まれます。

2. 人権に関する国際規範の尊重と適用法令の遵守

私たちは、「国際人権章典」に謳われる人権と、国際労働機関（ILO）の「労働における基本的原則及び権利に関する宣言」に規定された基本的権利に関する原則を尊重し、以下の指導原則やガイダンスに則り事業を運営します。

- ・国連 ビジネスと人権に関する指導原則
- ・OECD多国籍企業行動指針
- ・OECD紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデューデリジェンスガイダンス
- ・責任ある企業行動のためのOECDデューデリジェンスガイダンス

なお、適用される各国、地域の法規制を遵守しながらも、当該国の国内法と国際的な人権基準に矛盾がある場合には、国際的に認められた人権を尊重するための方法を追求していきます。

3. 人権尊重の推進体制

田中貴金属サステナビリティ推進担当部門は、サステナビリティ担当上級役員の監督の下、本方針に基づき、人権デューデリジェンスの仕組みの運用および田中貴金属全体の人権尊重の取り組みを推進する責任を持ちます。

4. 人権デューデリジェンスの実施

田中貴金属は人権への負の影響を特定し、重大な負の影響が懸念される場合には、かかる負の影響の防止ないし改善のための取組みを推進し、その進捗状況を継続的にモニタリングします。この一連の取組みによる改善により、人権の尊重を確実なものとしします。

田中貴金属は、当社の事業、製品またはサービスと直接関連するステークホルダー等が本方針と同等の基準を満たすこと、および、田中貴金属と協働して人権の尊重に取り組むことを期待します。

5. 人権尊重の責任

田中貴金属は、現代奴隷/強制労働および人身売買の禁止、児童労働の禁止、雇用および職業における差別の排除、結社の自由、団体交渉権の効果的な承認、安全で健康的な労働環境の実現に向けて取組みを推進し、人権の侵害を回避し、人権への悪影響となるものへの対処をします。

健全な企業であるために、責任ある原材料の調達や地球環境保全、安全な職場づくり、従業員の健康保持、個人の多様性の尊重等に取り組んでいます。

特にこの中でも、「責任ある鉱物調達方針」および「責任ある貴金属調達方針」を制定し、いわゆる紛争鉱物や原材料鉱物の調達において、児童労働をはじめとする人権侵害などの排除を推進しています。

6. 救済・是正処置

田中貴金属は事業、製品またはサービスが、人権への負の影響を引き起こした、または助長したことが判明した場合は、適切な手段により、その是正に取り組めます。また、関係者を通じて、人権に対する負の影響に直接関連したことが明らかになった、またはその関連が疑われる場合、関係者への働きかけを通じて救済に努めます。

人権への負の影響が生じた、またはそのおそれのある人々が通報可能な社内外の苦情処理メカニズムを通じて、ステークホルダーからの懸念や苦情を受け付けることができる体制構築に取り組み、問題解決または救済の実施に努めます。

7. 教育

すべての役員・従業員に対し、必要に応じた教育や訓練のプログラムを構築し、人権に関する教育を定期的実施します。

8. 対話

関連するステークホルダーと人権への顕在的または潜在的な負の影響を特定し、対話・協議を行います。

9. 情報の開示

本方針に基づく取り組みの進捗状況を、報告書等を通じて開示します。

2024年10月1日 田中貴金属 グループCEO



誠実で健全な企業であるために

コンプライアンス教育

コンプライアンス意識の向上と不正行為防止のために、コンプライアンスガイドブックを作成し全従業員に周知するとともに、コンプライアンス教育を実施しています。2024年度は海外拠点において現地の弁護士を講師として現地法に則した教育を実施しました。また、全従業員を対象に社内通報制度、独占禁止法遵守、腐敗防止、個人情報保護および営業秘密などのeラーニングを継続的に実施しています。さらに、海外赴任者や駐在員向けには現地での就業において特に注意すべき点を中心に教育を行い、田中貴金属全体のコンプライアンス意識向上に努めています。

行動憲章・行動規範

田中貴金属は、「田中貴金属 行動憲章・行動規範」において、国籍、人種などによるあらゆる差別をなくし、児童労働や強制労働を一切行わないことを宣言しています。また差別やハラスメントなどの行為を防止するための社内教育を行い、相談や違反を通報できる制度を設け、通報者は不利益を受けないよう厳格に保護されています。さらに、外国籍労働者に対しては、採用にあたり労働者から登録料や手数料を徴収しないこと、身分証明書、パスポートまたは労働許可証、ビザ等は本人が保管することなど、労働者の人権に配慮するための手順を定めています。

田中貴金属 行動憲章・行動規範

<https://www.tanaka.co.jp/company/group/jpn-charter/>

ハラスメント研修

田中貴金属では、役員および従業員に対してハラスメントを防止するための研修を実施しています。2024年度は、海外拠点向けのコンプライアンス研修の中でハラスメントに関する教育を実施しました。国内拠点向けには、マネージャー以上のすべての役職者を対象に実施した女性管理職育成プログラムの研修においてハラスメントをテーマに取り上げ、管理職のハラスメント防止に関する意識づけを行うなど、ハラスメント防止・撲滅に取り組んでいます。

社内通報制度

2024年度の社内通報件数は12件でした。すべての案件について公益通報者保護法ならびに社内通報制度規程に則って通報者保護と守秘義務を遵守し適切に対処しています。

営業秘密に関するコンプライアンス教育

田中貴金属では、国内従業員を対象に営業秘密に関するeラーニング、確認テスト、および営業秘密保持誓約書の提出を実施しています。本施策の目的は、①従業員の継続的な営業秘密コンプライアンスに関する知識の習得および意識の向上、②就業規則に定める秘密保持義務や競争禁止義務の再確認、③秘密保持義務違反時の罰則についての理解促進です。

2024年度は営業秘密に携わっている国内従業員1,863名が受講しました。本施策を通じて、営業秘密の適切な管理に対する意識を高めるとともに、組織全体でのリスク管理を強化しました。今後も継続的な教育を実施し、営業秘密の適切な取り扱いを徹底してまいります。

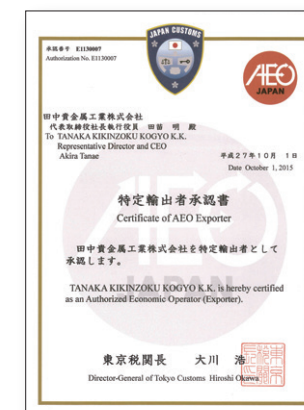
安全保障貿易管理

国際的な平和および安全を基盤として世界中のお客様に製品やサービスをお届けするグローバル企業にとって、国際協調に基づく適正な輸出管理は欠かすことのできない責務となっています。

田中貴金属工業(株)は、外為法などの法令に則り、独自の「安全保障貿易管理規程」(CP)を定め、経済産業省に届け出ています。当社の製品や技術が国際テロ犯罪や核兵器・生物化学兵器などに転用されることを防ぐための慎重な輸出管理を行うとともに、域外適用により事実上全世界に規制が及び米国輸出管理規則(EAR)などについても常にその動向を把握し適切な対応に努めています。

AEO認定輸出者としての取り組み

田中貴金属工業(株)は、税関当局から認められた特定輸出者(AEO認定輸出者)として、貨物、輸送、敷地などの安全性の確保、内部監査、委託先管理、税関・社内の連絡体制、教育体制などのコンプライアンス体制を整備するとともに、信頼性の高いセキュリティのもとで製品提供を行っています。



CSRパフォーマンス

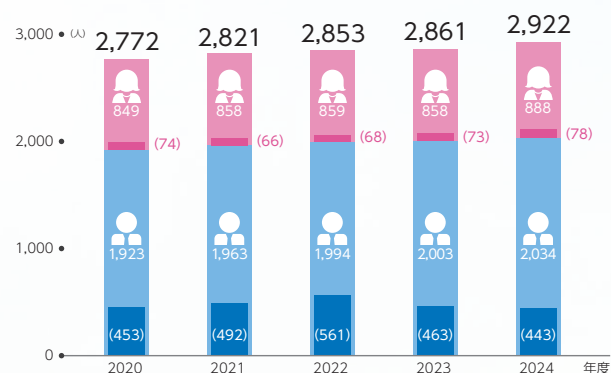
CSRに関するさまざまな指標を、改善・悪化にかかわらず開示します。

指標については世の中の動向やステークホルダーの要求に応じて適宜見直しを行います。

※2023年度の会計年度変更に伴い集計期間を変更しています。
2020年度～2022年度:4月1日～翌3月31日。
2023年度～2024年度:1月1日～12月31日。
2022年度、2023年度では2023年1月～3月のデータを重複して集計しています。

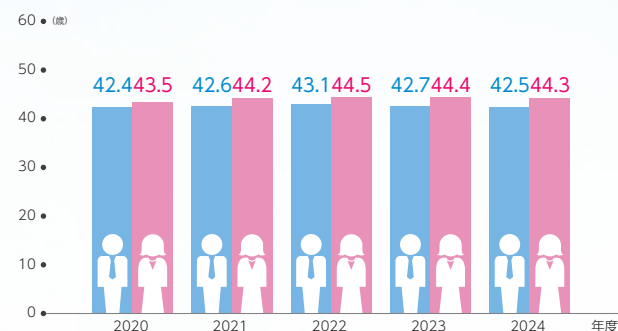
従業員数・管理職人数(日本国内)

従業員数 男性 女性 うち、管理職人数 男性 女性



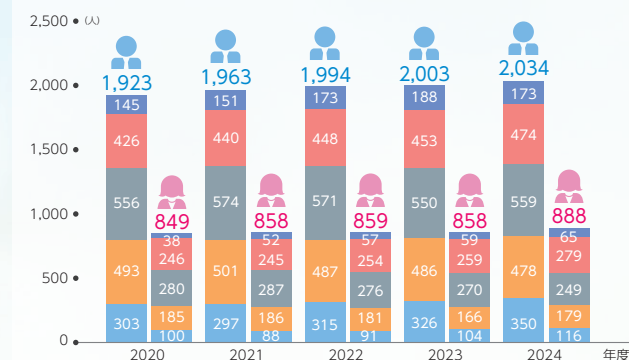
平均年齢(日本国内)

男性 女性



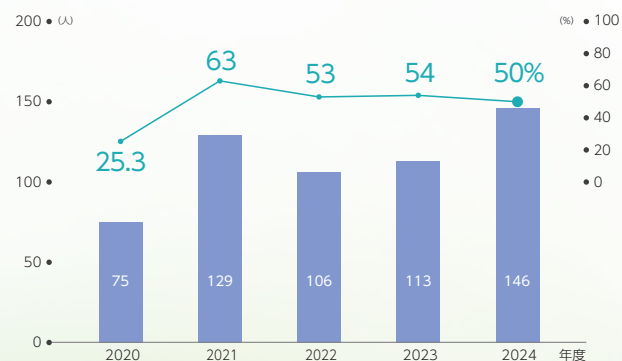
年齢別従業員数(日本国内)

10-20代 30代 40代 50代 60以上

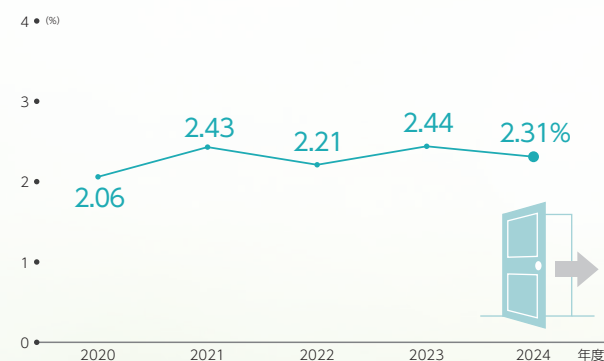


中途採用比率(日本国内)

採用人数(新卒・中途) 中途採用比率



離職率(日本国内)

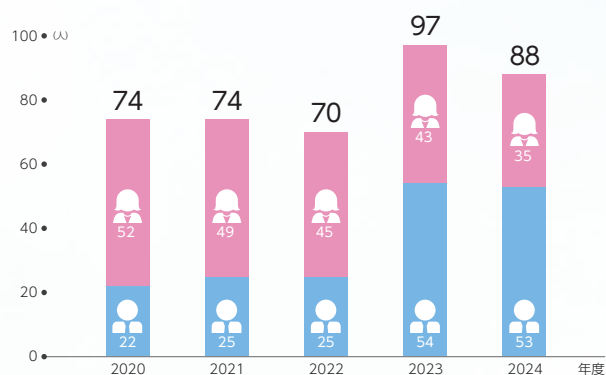


CSRパフォーマンス

育児休業取得者数(日本国内)



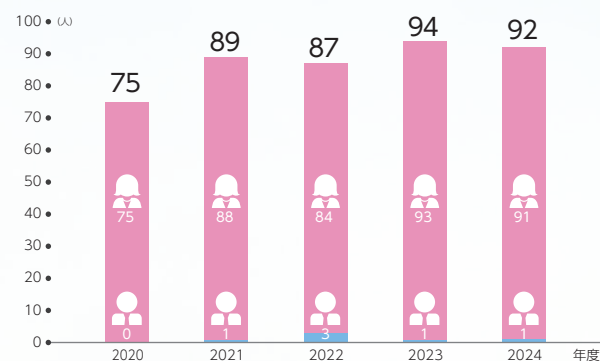
■ 男性 ■ 女性



育児短時間勤務取得者数(日本国内)



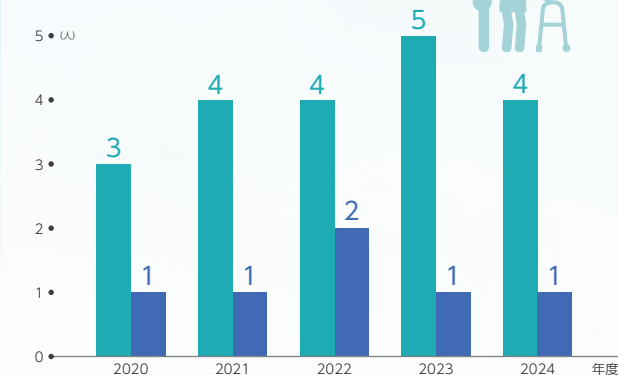
■ 男性 ■ 女性



介護休暇取得者数・介護短時間勤務取得者数(日本国内)



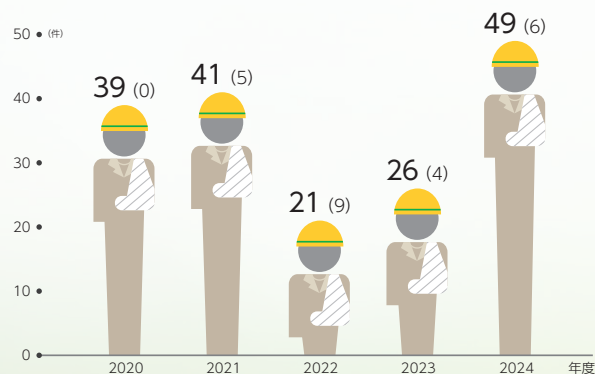
■ 介護休暇 ■ 介護短時間勤務



労働災害発生件数



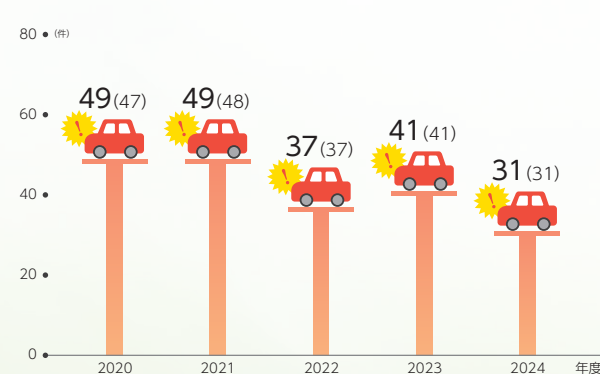
労働災害 ()内は休業4日以上災害の内数



交通事故発生件数

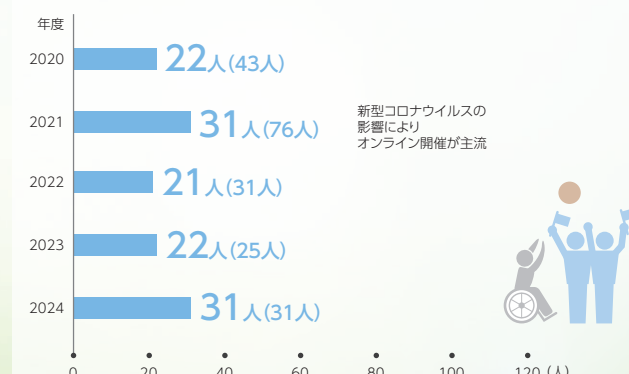


交通事故 ()内は通勤時の内数



障がい者スポーツ 参加人数(応援観戦・ボランティア) ※実数

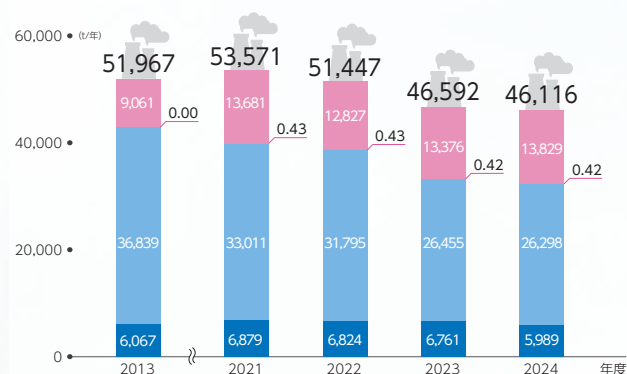
()内は延べ人数



CSRパフォーマンス

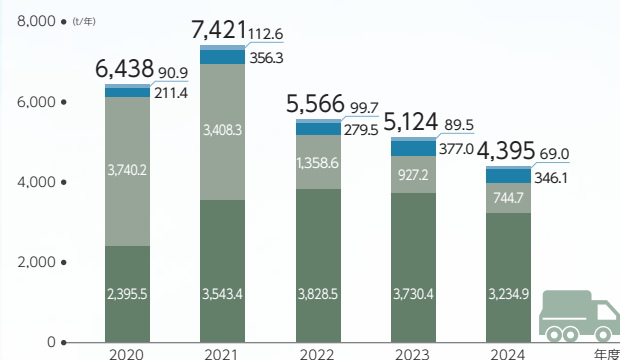
CO₂排出量(田中貴金属 国内・海外)

■ 日本スコープ1 ■ 日本スコープ2 ■ 海外スコープ1 ■ 海外スコープ2

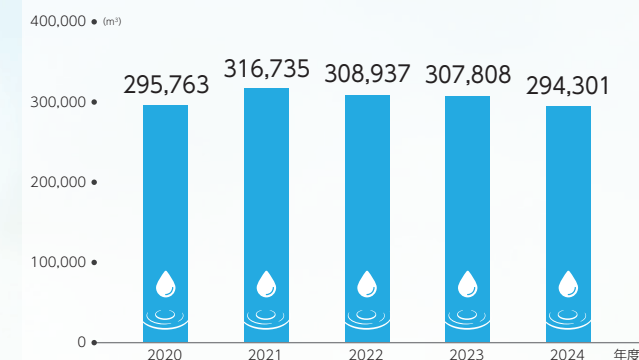


産業廃棄物排出量(田中貴金属 国内・海外)

■ 日本(非有害) ■ 日本(有害) ■ 海外(非有害) ■ 海外(有害)

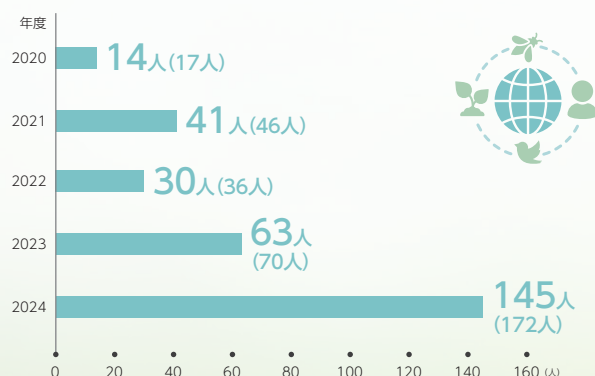


水使用量(日本国内)

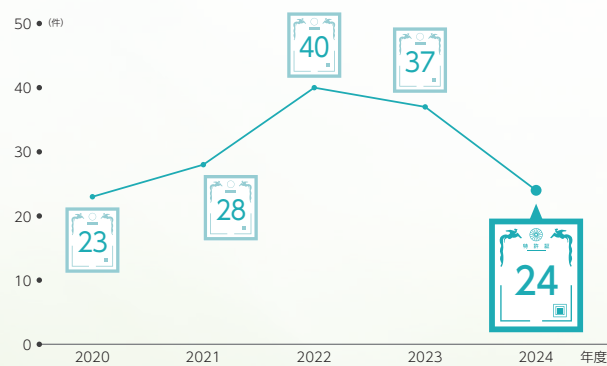


生物多様性保全活動 参加人数(日本国内) ※実数

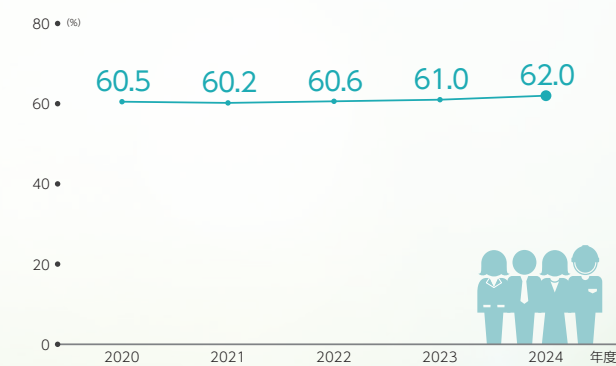
()内は延べ人数



新規特許登録件数(日本国内)



組合組織率(日本国内)



第三者保証

田中貴金属では、CSR報告書に掲載するCSRパフォーマンスデータの信頼性向上を目的として、株式会社サステナビリティ会計事務所に第三者保証を依頼しています。詳細は以下の通りです。



独立第三者の保証報告書

2025年8月28日

株式会社田中貴金属グループ

代表取締役社長執行役員 田中 浩一朗 殿

株式会社サステナビリティ会計事務所

代表取締役 福島隆史

1. 目的

当社は、株式会社田中貴金属グループ（以下、「会社」という）からの委嘱に基づき、2024年度の各指標（対象となる指標については別紙参照。以下、「パフォーマンス指標」という。）に対して限定的保証業務を実施した。本保証業務の目的は、パフォーマンス指標が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続を実施し、その結論を表明することにある。パフォーマンス指標は会社の責任のもとに算定されており、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。

2. 保証手続

当社は、国際保証業務基準 ISAE3000 ならびに ISAE3410 に準拠して本保証業務を実施した。当社の実施した保証手続の概要は以下のとおりである。

- ・算定方針について担当者への質問
- ・算定方針の検討
- ・算定方針に従ってパフォーマンス指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施

3. 結論

当社が実施した保証手続の結果、パフォーマンス指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

会社と当社との間に特別な利害関係はない。

以上

(1/2)



(別紙)

パフォーマンス指標 一覧

項目	2024年度実績
CO ₂ 排出量	スコープ 1 5.99 千 t-CO ₂ スコープ 2 (マーケットベース) 40.1 千 t-CO ₂
廃棄物排出量	合計 4.40 千 t 無害廃棄物 3.58 千 t 有害廃棄物 0.81 千 t
取水量	294 千 m ³
従業員数	男性 2,034 人 女性 888 人
管理職人数	男性 443 人 女性 78 人
育児休業取得者数	男性 53 人 女性 35 人
育児短時間勤務取得者数	男性 1 人 女性 91 人
介護休業取得者数	4 人
介護短時間勤務取得者数	1 人
離職率	2.31%
労働災害発件数	49 件
交通事故発件数	31 件

各パフォーマンス指標のバウンダリーは「CSR 報告書 2025」に記載

(2/2)